

NBAのドラフト会議で、ワシントン・ウィザーズから一巡目に指名された八村塁（はちむら るい）選手を奮起させたのは、「おまえはNBAに行くんだ」という中学生時代のコーチの言葉だったとのこと。私は、それを知った時、ふと、バスケットボール漫画『SLAMDUNK（スラムダンク）』の監督安西先生が、試合を諦めかけた中学生に対して、「最後まで希望を捨てちゃいかん。あきらめたらそこで試合終了だよ」と、ささやくように伝えたシーンを思い出しました。



これらに比べるまでもありませんが、私自身のことを振り返って見ると、自分を奮起させるような言葉に何度か出逢い、そして今に至っていると思います。とは言え、私の場合は、負けず嫌いなので、どちらかというと、褒め言葉よりも、悔しい思いをさせられた言葉の方が多かったように思いますが・・・。

さて、みなさんは、自分が奮起した言葉はありますか？

いずれにせよ、その時その時の自分に響く言葉と出逢えたことは、私の宝物です。

先日、アルペールビル冬季オリンピックで金メダルを獲得した三ヶ田礼一（みかた れいち）さんの講演を聴く機会がありました。

その中で、三ヶ田さんがオリンピックを目指すきっかけとなった言葉は、「おいぼうず、身が軽いな」だったと話していました。声を掛けてきたのは、三ヶ田少年憧れの、札幌オリンピック金メダリスト笠谷幸生（かさや ゆきお）選手だったそうです。笠谷選手のその一言が、三ヶ田少年の心の中で、強烈にキラキラしたものとして輝き続けたとのことでした。

三ヶ田さんは、「あの時の僕は、自分は褒められたと捉えて、オリンピックを目指した。あの出逢いがなければ、金メダルはなかった」とも話していました。

現在、三ヶ田さんは、世界のトップアスリートとなる人材育成を目指す「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」に携わっています。笠谷選手との「偶然」の出逢いが、オリンピックに出場するのだという「必然」となったご自身の体験から、岩手の子ども達の夢を「偶然」から「必然」へと変えていくことに尽力されているとのことでした。

さて、みなさんが奮起した言葉は、どんな言葉でしたか？
自分自身のことを振り返ることで、お子さんに対する言葉掛けのヒントが見つかるのではないのでしょうか。やはり、希望が持てるプラスの言葉の方がいいでしょうね。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター
025-0301 花巻市北湯口 2-82-13
TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索